

# 都民連だより

全国  
大会  
特集号

平成29年10月  
(第53巻2号)

## 特集 民生委員制度創設100周年記念 全国民生委員児童委員大会

- 写真でつづる全国大会1日目 ●全国大会2日目 テーマ別研修I～VI
- 応援委員の活躍 ●子ども応援募金贈呈 ●編集後記



民生委員制度の源である岡山県「済世顧問制度」設置規程が公布された大正6（1917）年から、ちょうど100年にあたる今年。全国で活動する民生児童委員が一堂に会し、これまでの100年の歴史を振り返り、その原点、そして多くの先達の思いを再確認するとともに、委員活動の一層の充実、発展に向け、思いを新たにする機会として、7月9日～10日、全国民生委員児童委員大会が東京で開催されました。

主催者の一員として迎えた本大会では、1日目は東京ビッグサイト（江東区）で天皇皇后両陛下の御臨席を賜り式典・記念講演が、2日目は6会場に分かれてテーマ別研修が、北は北海道から南は沖縄県まで全国の民生児童委員1万人とともに盛大に執り行われました。

本号は、その特集号として、大会の様子をお伝え致します。



14:30

14:05

写真でつづる  
**全国大会**  
**1日目**  
 「7月9日」

◆オープニング

- ・映像資料上映

◆式典第1部

- ・開会宣言
- ・民生委員・児童委員  
物故者黙祷
- ・民生委員児童委員  
信条朗読
- ・天皇皇后両陛下御臨席
- ・国歌斉唱
- ・式辞



【天皇皇后両陛下御臨席】

【開会宣言】

寺田晃弘  
都民連会長



力強い開会宣言をもって、  
記念すべき100周年大会の  
幕が開ける



【あいさつ】  
塩崎恭久  
厚生労働大臣



【式辞】  
得能金市  
全民児連会長

【信条朗読】

大野トシ子  
全民児連副会長



凜とした空気に包まれる



【あいさつ】  
小池百合子  
東京都知事



【あいさつ】  
齋藤十朗  
全社協会長



15:00



御着時の御様子

- ・あいさつ
- ・厚生労働大臣特別表彰
- ・全民児連会長表彰
- ・天皇皇后両陛下御退席
- ・登壇者紹介
- ・閉会の辞



**【全民児連会長表彰】**

受賞者 海老澤栄氏（西東京市）



**【厚生労働大臣特別表彰】**

受賞者 福田芳枝氏（葛飾区）

まず、永きにわたり活動にご尽力されてきた方々に、100周年を記念し、厚生労働大臣より特別表彰が授与されました。受賞者167名を代表して、福田氏が塩崎大臣より表彰状をお受けになりました。

次に、優良民児協表彰受賞74民児協、永年勤続単位民児協会長表彰受賞36名を代表して、海老澤氏が得能全民児連会長より表彰状をお受けになりました。

都内受賞者は以下の通りです。

◆厚生労働大臣特別表彰

福田芳枝氏（葛飾区）

大場弘氏（世田谷区）

村上牧夫氏（葛飾区）

足立賢一郎氏（北区）

新沼春海氏（町田市）

◆優良民児協表彰

大田区、昭島市、西東京市

◆民生委員・児童委員功労者表彰

3名

◆永年勤続民生委員・児童委員表彰

1577名

誠におめでとうございます。



全国から1万人の仲間が集う



**【閉会の辞】**

青山 侃  
東社協会長

17:00

16:40

16:15

15:05

◆記念講演

◆式典第2部

- ・ 大会宣言
- ・ 抛金贈呈
- ・ 次期開催地あいさつ
- ・ 民生委員の歌斉唱

◆アトラクション

- ・ 閉会

**【記念講演】**  
**鎌田 實氏**  
 諏訪中央病院名誉院長  
 医師・作家

**「あたたかい社会をつくる」**

演台もない舞台に  
 颯爽と現れた鎌田氏。  
 映像と音楽に乗せて、  
 困っている人に手を差  
 し伸べることの大切さ  
 を語られました。民生  
 児童委員活動には、愛  
 地域貢献、希望の3つ  
 がある、地域にとって  
 大切な存在だと、エー  
 ルが送られました。





**【抛金贈呈】**

得能金市 全民児連会長  
 市東和子 都民連副会長  
 貫名通生 都民連副会長

本大会の参加者の皆さまから、開催地である都民連に、抛金が贈呈されました。これは大会の運営ならびに委員活動に役立てるためとし、大会参加費の一部が充てられています。



**【大会宣言】**

長谷川正義  
 全民児連副会長



**【次期開催地あいさつ】**

藏當博文  
 沖縄県民児協会長





**【民生委員の歌斉唱】**

都民連合同コーラス隊

(世田谷区、中野区、杉並区、練馬区、葛飾区、日野市)

指揮者 清水ひな子氏 (中野区)

この記念式典に合わせて結成された6地区総勢120名のコーラス隊の登場に会場はどよめきました。

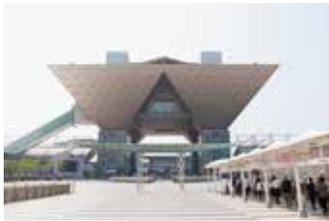
その美しいコーラスにリードされ、会場に歌声が響き渡ります。歌詞に込められた100年にわたり続いてきた活動への思いを再確認し、全国の仲間とともに、この先へと紡いでいくことを決する機会にもなりました。

**【アトラクション】**

一般社団法人江戸消防記念会



江戸時代から連綿と受け継がれてきた町火消(まちびけし)の伝統の技。威勢のよい木遣り・纏振り(まといふり)に始まり、6・5mの高さで繰り上げられる梯子乗りの妙技に、会場は大いに盛り上がりました。最後は、1万人による手締めで、初日の幕が閉じました。



会場：東京ビッグサイト (江東区)

●編集委員の感想 安井敦子

100年という記念すべき式典は壮観で、素晴らしいものでした。伝達手段が発達していなかった当時、先輩方が地域を周り調査した内容を社会、行政に伝えてきたことが、今日、私たちに寄せられる信頼の源であることを改めて認識致しました。



大会2日目は、1万人の参加者が6つの会場に分かれ、テーマ別研修が開催されました。テーマ別研修Ⅰ～Ⅴでは、大ホールでのシンポジウムが、テーマ別研修Ⅵでは、小会場を巡りながら全国各地の実践報告を聞く小規模発表集会が行われました。



# 7月10日 2日目 全国大会



参加者の皆さんは制度の歴史、活動の現状、これからの課題などについて各会場で学びを深めました。応援委員として参加した私も、「活動の参考になった」「いい研修だった」と声を掛けられ、運営のお手伝いがかっこよく感じました。(編集委員・山内壽子)

## テーマ 民生委員制度創設の原点を学ぶ

テーマ別  
研修  
Ⅰ

- [ シンポジスト ] ①小笠原慶彰氏 (神戸女子大学教授)  
②山崎美貴子氏 (神奈川県立保健福祉大学名誉教授)  
③堀江正俊氏 (全民児連顧問)
- [ コーディネーター ] ④山田秀昭氏 (全社協参与)
- [ 司会者・運営幹事 ] 福本行廣氏・貫名通生氏 (都民連役員)

〈会場〉  
東京ビッグサイト  
国際会議場

〈参加者〉  
967名



①小笠原氏



②山崎氏



③堀江氏



④山田氏

会場は、100年の重みを背負い全国各地から集まった委員の皆さんで埋め尽くされました。研修では、民生委員制度の原点を学ぶとともに、これからも住民の立場に立って、誰もが住みよい地域づくりを目指すことを拍手で確認しました。新たな100年の第一歩にふさわしい盛り上がりでした。(編集委員・北村実)

## テーマ これからの民生委員・児童委員活動

テーマ別  
研修  
II

[ シンポジスト ] ①上野谷加代子氏 (同志社大学大学院教授)

②定塚由美子氏 (厚生労働省社会・援護局長)

③得能金市氏 (全民児連会長)

[ コーディネーター ] ④中島 修氏 (文京学院大学准教授)

[ 司会者・運営幹事 ] 池永和子氏・田中和夫氏 (都民連役員)

〈会場〉

文京シビックホール

〈参加者〉

1767名



①上野谷氏



②定塚氏



③得能氏



④中島氏

今回参加者が特に多かったシビックホールは、全国の委員の皆さんの笑顔と熱気があふれていました。新たな時代に向け、果たすべき役割や活動の方向性を会場全体で確認し合いました。それぞれの活動地域は違っていても、同じ民生児童委員としての使命感で地域を支えている「仲間」だと思ふと、感慨無量でした。(編集委員・田中千津子)

## テーマ 地域共生社会の実現に向けて

テーマ別  
研修  
III

[ シンポジスト ] ①武川正吾氏 (東京大学教授)

②勝部麗子氏 (豊中市社協福祉推進室長)

③滝沢康弘氏 (読売新聞社会保障部記者)

[ コーディネーター ] ④和田敏明氏 (ルーテル学院大学名誉教授)

[ 司会者・運営幹事 ] 田中 敏氏・伊藤雅子氏 (都民連役員)

〈会場〉

東京大学  
安田講堂

〈参加者〉

1015名



①武川氏



②勝部氏



③滝沢氏



④和田氏

研修会場が「安田講堂」ということで、希望者が集中したと伺いました。誰もが主体的に参加し、支え合ふことで安心して生活を送ることができる「地域共生社会」の実現にどのように取り組むべきか、熱心な議論が展開されました。特に豊中市社協の勝部氏の話は、実践に裏打ちされておられ、印象深かったです。(編集委員・石川謙二)

テーマ **子どもたちの未来のために**

【シンポジスト】 ①奥山千鶴子氏（子育てひろば全国連絡協議会理事長）

②吉田 学氏（厚生労働省雇用均等・児童家庭局長）

③松下 明氏（全民児連副会長）

【コーディネーター】 ④松原康雄氏（明治学院大学学長）

【司会者・運営幹事】 相田義正氏・芝辻義治氏（都民連役員）

〈会場〉  
東京ビッグサイト  
レセプションホール

〈参加者〉  
1073名



①奥山氏



②吉田氏



③松下氏



④松原氏

シンポジストの皆さんの報告から、現代の保育事情や親の悩みを具体的に学ぶことができました。当地区では子どものケースは少ない状況ですが、しっかりと子どもの分野にも目を向けていく必要があると思われました。子どもたちの未来のために、地域にアンテナを張っていきたいです。  
(編集委員・小田島眞理子)

テーマ **これからの民児協活動に向けて**

【シンポジスト】 ①金井 敏氏（高崎健康福祉大学教授）

②越智和子氏（琴平町社協常務理事・事務局長）

③藤目真皓氏（全民児連副会長）

【コーディネーター】 ④市川一宏氏（ルーテル学院大学学事顧問・大学院研究科長）

【司会者・運営幹事】 山下忠義氏・平石昭夫氏（都民連役員）

〈会場〉  
よみうりホール

〈参加者〉  
1039名



①金井氏



②越智氏



③藤目氏



④市川氏

有楽町駅を降りると所要所で黄色のベストを着た応援委員の方が案内をしてくださり、迷うことなくホールへたどり着きました。ともすれば、活動の忙しさばかりが強調されがちですが、一人で抱え込まず仲間同士で支え合うこと、どうせやるなら皆で楽しく活動していくことが大切との話に、肩の荷が下りる思いがしました。(編集委員・五辺博子)

国際フォーラムの会議棟では、26の会議室で112地区の実践報告が行われた他、ホール棟では各民児協が作成した活動紹介映像が放映されました。

東京都① 発表テーマ

## 地域に暮らすあなたが主役 ～小地域福祉活動～



小林氏（中央）

「男はつらいよ」で有名な葛飾区。寅さんと妹さくらさんの生い立ちから始まった発表でしたが、そんな下町でも地域のつながりが徐々に希薄になってきているとのことでした。そんな中、住民が地域のことを知り、住民同士が知り合い、活動することを目標に掲げて取り組んでいる小地域福祉活動の実践は大変参考になりました。（編集委員・宮本勝男）

〔発表者〕 小林隆猛氏（葛飾区民児協会長）

〔地域特性〕 民児協数：19地区 委員定数：404人（内、主任児童委員38人）

〔主な内容〕 町会等と協力しながら全単位民児協で実施する多様な取り組みの紹介

東京都② 発表テーマ

## 活動しやすい環境整備 ～充足率100%を目指して～



内藤氏（右）

小会議室に分かれての研修は発表者との距離も近く、直に熱意を感じることででき、大変良かったです。八王子市民児協では、充足率100%に向けて、一人ひとりの負担を軽減するため、区域割や定数を見直してきたそうです。また中学生社会福祉意見発表会を主催するなど民児協独自の活動を工夫されていて、多くのことを学ばせていただきました。（編集委員・森田節子）

〔発表者〕 内藤榮一氏（八王子市民児協会長）

〔地域特性〕 民児協数：20地区 定数：452人（内、主任児童委員45人）

〔主な内容〕 地区割の見直しと定数増、自主活動、協力員制度の活用に関する報告

# 応援委員の活躍



Welcome to Tokyoと書かれたベストで迎えました。



最後の一人が帰るまで、お見送りをさせていただきました。



2日間で延べ717人の応援委員の方にご協力いただきました。「参加者からありがとうと言われるとうれしい」と、楽しみながら業務にあたる姿が印象的でした。暑さに負けず、積極的にお声掛けくださる、その笑顔が大会を支えてくださいました。応援委員の皆さま、ありがとうございました。

心より感謝申し上げます。

8月、本会役員が、岩手県・宮城県・福島県へ子ども応援募金をお届けしました。募金活動は昨年11月末で収束したため、募金の残額すべてを均等に寄附。募金活動は終わりますが、東京の民生児童委員として今後も被災地に心を寄せ続けていく思いを新たにしました。これまでのご協力に、

## 子ども応援募金贈呈

り致します。

本会顧問の大澤義行氏が7月13日に逝去されました(享年83歳)。昭和45年委嘱後、平成7年本会会長に就任。平成14年からは全民児連会長も務め、平成19年の退任まで永らく東京と全国双方の活動を牽引されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

## 訃報

### 編集委員

小田島真理子(千代田区) 田中 千津子(文京区)  
山内 壽子(品川区) 安井 敦子(豊島区)  
宮本 勝男(足立区) 五辺 博子(狛江市)  
石川 謙一(府中市) 森田 節子(清瀬市)  
北村 実(昭島市)

### 編集協力

池永 和子  
(都民連副会長: 広報担当)

### 編集後記

今までは真面目な読者ではなかった都民連だよりでしたが、編集会議に参加してみて、ビックリ。編集委員の熱心な討論によりできていることを知り反省しきり。皆さんのいろんなお話を聞かせていただき、ひたすら勉強です。

なにより100周年という節目の年にすばらしい編集委員の仲間に入れていただいたことに感謝しています。

やまうち としこ  
山内 壽子

### 発行

東京都民生児童委員連合会  
〒162-0823  
新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階  
TEL: 03 (3235) 1163 FAX: 03 (3235) 1169  
E-mail: tominren@tcsw.tvac.or.jp  
年4回発行 印刷: 株式会社トライ